

2015 年度春号 研究室だより

卒業生・修了生の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。同窓会員の皆様に、2014 年度の西洋史学研究室の近況をご報告させていただきます。

まずは 2014 年度の研究室の構成についてご報告させていただきます。現在、西洋史学研究室は山内昭人教授（インタナショナル史）と岡崎敦教授（フランス中世史）の 2 人の先生方のもと、学部生 12 人、院生 3 人の総勢 15 名の学生が日々研究に勤しんでいます。学部 3 年生の田村黎衣さん、橋元隆くん、廻康輔くん、学部 4 年の松崎秀史くん、仁階堂翔太くん、隈部雄大くん、佐藤志織さん、田口淳くん、松本知佳さんという頼もしい先輩たちの輪に、4 月には新 2 年生の加地奈津歩さん、久保田洋くん、古賀祐磨くんの 3 名が研究室の一員として加わり、大学院修士課程には内部進学として松木美加（ドイツ環境エネルギー史）が進学しました。また、8 月にはミュンヘン大学に留学していた仁階堂くんとストラスブール大学に留学していた佐藤さんが帰国しました。二人とも留学で学んだことや現地で体験したことのお土産話をしてくれたので、研究室の学生も大いに刺激を受け、研究の本場への関心がより高まったようです。

2014 年度も本研究室は学外との交流を活発に行い、前期には東亜大学から山本達夫准教授を、後期には福岡大学より森丈夫准教授をお招きし、ドイツ現代史と初期アメリカ史の演習が開講されました。山本先生のゼミでは、ドイツの友人から届いた手紙を見せてくれたり、ドイツのお菓子を持ってきてくれたり、ヨーロッパをより身近に感じさせてくれました。本研究室主催の学会・研究会関係では例年通り 12 月に九州史学会西洋史部会が開催され、近年最多の 9 名が報告を行い、大変活気のあるものとなりました。

このような研究室外での交流に加え、近年は研究室内でも学生間での交流が活発に行われ、とてもアットホームな雰囲気になっています。今年は特に松木が中心となり、学内バドミントン大会にチームとして参加するなど、学年を越えた交流を活発に行っています。スポーツを通じてさらに深まった結束のもと、オープン・キャンパスや研究室訪問では未来の仲間を多く迎えられるよう、西洋史の魅力をアピールしました。今後もイベントや飲み会など交流の機会を増やし、研究室のさらなる活性化を図りたいと思います。

さて、2014 年度の最後の行事は論文の提出ですが、学部 4 年生が様々なテーマで卒業論文を提出しました。大学院では修士課程の松木がドイツの反原発運動をテーマに修士論文を執筆するため、アルバイトと両立しながら研究活動に勤しんでいます。博士課程では欧州統合史が専門の高津智子（日本学術振興会 DC2）が独・伊・仏にて史料収集及び現地の研究者との交流を行い、それをもと

に九州史学会で報告を行いました。フランス中世史が専門の大浜聖香子さんはベルギー留学から帰国され、論文を執筆しながら近々中の提出をめざして博士論文を執筆中です。同じくフランス中世史が専門の法花津晃さんはフランス留学から帰国後、論文執筆や各地での学会報告を積み重ね、来年の提出を目指して現在博士論文大成のために日々勤しんでいます。本研究室の修了生でミュンヘン大学にて博士号を取得されたドイツ近世史が専門の大場はるかさんは、ドイツ留学から帰国後、日本学術振興会特別研究員（PD）として研究の場を京都大学とウィーン大学に移し、5月にはワークショップ西洋史・大阪で報告を行うなど、精力的な活動をされています。このように、海外で積極的に研究活動を行うという研究室の先輩方の伝統を引き継ぎ、各々が研究の道に邁進しています。

今後も本研究室は和気あいあいとした雰囲気の中、切磋琢磨して研究に勤しみ、研究室をさらに発展させていきたいと思えます。

それでは末筆ながら、卒業生のみなさまのますますのご発展を心からお祈りいたします。

（文責 高津智子・松木美加）

【会員近著紹介】

岡崎敦（共著）『15のテーマで学ぶ中世ヨーロッパ史』、ミネルヴァ書房、2013年1月。

神寶秀夫『中・近世ドイツ統治構造史論』、創文社、2013年3月。

星乃治彦・熊野直樹 [ほか] 訳／ジェフリー・ハーフ著『ナチのプロパガンダとアラブ世界』、岩波書店、2013年11月。

熊野直樹（共著）『21世紀のグローバル・ファシズム—侵略戦争と暗黒社会を許さないために』、耕文社、2013年12月。

星乃治彦『台頭するドイツ左翼：共同と自己変革の力で』かもがわ出版、2014年1月。

Hironori MIYAMATSU, *La Royauté Carolingienne et Son Administration Régionale*, Perseides, 2014, juillet.